

◆兵庫・沖縄冬期友愛キャンプ◆ 兵庫県の歴史・文化を体験

兵庫と沖縄の青年たちが絆を深める

第四十五回兵庫・沖縄冬期友愛キャンプが、二月八日～十一日まで兎和野高原野外教育センターを主会場に開催され、兵庫から十人、沖縄から八人の青年が参加。沖縄県人会兵庫県本部からは内間めいさん(大島)、石井有紗さん(大武)が参加し、沖縄・兵庫の青年たちと交流を深めました。

今回のキャンプは兵庫県の各地を訪れる体験型のプログラム。沖縄のメンバーが神戸空港に到着後、昨年まで開催していた兵庫県民会館での開会式は取り止め、直接、北播磨方面へ。多可町にあるマイスター工房八

千代での「巻き寿司体験」に挑戦。播磨屋本店にも立



湯村温泉で、足湯を体験。

ち寄り、兎和野高原野外教育センターに到着しました。二日目には、兎和野高原での雪上運動会を楽しみ、香住町の酒造見学、余部鉄橋「空の駅」見学、湯村温泉では足湯を体験。

三日目は、あいにくの雨模様でしたが、風情のある出石町を散策。三田市の兵庫県広域防災センターでは、起震車による地震体験、煙

夜は神戸・北野のおしゃれなホテル、北野ホテル六甲荘でOB・OGらと交えた「さよならパーティ」があり、兵庫県青少年本部の

最終日は、班別行動。「思い出を深めよう」というミッションがあり、神戸市内で自由行動。いよいよお別れするとき、兵庫のメンバーが神戸空港まで見送り、別れを惜しみました。青少年本部のスタッフは、「最後の涙や、ゲートをくぐってからも手を振り続ける姿に、このキャンプで作った絆はずっと続いていくものだ」と信じています(同本部のフェイスブックより)と話しています。

* *

大城会長は、「参加者は少なかつたが、キャンプを通して、とても深い交流ができたようだ」と話しています。県人会から参加した内間さん、石井さんの感想は、次号以降にお伝えします。



発行所
一般財団法人 兵庫沖縄協会
理事長 大城健裕
〔沖縄県人会兵庫県本部〕
〒660 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目26-12
-0805 中央ビル601
TEL (06) 6487-0535(代)
FAX (06) 6482-4048
http://hyogo-okinawa.jp/
郵便振替口座 01180-9-28742

3月号・7日発行 1部 80円
1年 1,000円(郵送料とも)

沖縄のことわざ

肝出でいば手引きい、手出でいば肝引き▶感情が激したら手を引きなさい。手がでそうになったら感情を抑えなさい(多良間島の教訓より)。



青少年本部の梅谷理事長、県人会の大城会長らを交えた「さよならパーティ」で。



雪上運動会で雪の感触を楽しむ。